

令和6年度 当初予算の概要(生涯学習課関係分)

目 次

9. 7. 1(社会教育総務費)

| | | |
|---------------------|-------|--------|
| ○ 人権教育事業 | | - 2 - |
| ○ 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 | | - 3 - |
| ○ 社会教育事業 | | - 4 - |
| ○ 青少年体験活動事業 | | - 5 - |
| ○ 青少年センター管理運営事業 | | - 6 - |
| ○ 二見自然の森管理事業 | | - 7 - |
| ○ 八竜山自然公園管理運営事業 | | - 8 - |
| ○ 社会教育センター管理事業 | | - 10 - |
| ○ 赤星公園管理事業 | | - 11 - |
| ○ 教育文化センター建設基金事業 | | - 12 - |

9. 7. 2(公民館費)

| | | |
|----------------|-------|--------|
| ○ 生涯学習推進事業 | | - 13 - |
| ○ 公民館施設整備事業 | | - 14 - |
| ○ 公民館管理運営事業 | | - 15 - |
| ○ 自治公民館整備補助金事業 | | - 16 - |

9. 7. 4(図書館費)

| | | |
|-------------|-------|--------|
| ○ 図書館管理運営事業 | | - 17 - |
|-------------|-------|--------|

人権教育事業

※H23から「地区内同和教育事業」と合算

○目的 八代市におけるあらゆる差別の解消を図るため、社会教育指導員や専門講師を活用し、人権意識の高揚を図る。また、各種大会・研修会に参加し、資質向上を図る。
人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所で行う解放学習会等を支援するとともに、建物の維持管理を行う。

○全体計画 各校区での人権教育研修会の実施、各種大会・研修会への参加。
小・中・高生の学習支援、地区内住民の解放学習、解放子ども会事業、地区内同和教育事業、集会所建物維持管理等の実施。

○予算額の推移(当初予算ベース)

| | |
|----------------|---|
| R 3年度：13,951千円 | 財源内訳：合併特例債 5,800千円、一般財源 8,151千円（西宮上日置集会所屋上防水改修工事 6,174千円） |
| R 4年度：4,165千円 | 財源内訳：一般財源 4,165千円 |
| R 5年度：10,272千円 | 財源内訳：一般財源 10,272千円（西宮上日置集会所空調等改修工事 6,100千円） |

○令和6年度の主な事業内容

- ・ 地区内同和教育事業 10名の講師により地区住民の解放学習の実施（下記、解放子ども会事業の学習支援）
講師謝金 1,500千円（R5：1,500千円、R4：1,500千円、R3：1,500千円）
- ・ 解放子ども会事業 地区内の小・中・高生に対する学習会や体育スポーツ・レクリエーション等の開催
事業委託 219千円（R5：219千円、R4：219千円、R3：219千円）
- ・ 地区内人権教育事業 地区内における学習計画の立案や解放講座等の開催
事業委託 400千円（R5：400千円、R4：450千円、R3：450千円）
- ・ 集会所維持管理経費 1,732千円（管理人謝礼：190千円、消耗品費：90千円、光熱水費：633千円、施設修繕：33千円、電話料：64千円、消防設備点検：22千円、機械警備・清掃業務：209千円、使用料・賃借料：255千円、備品購入費：236千円）
- ・ 人権教育研修 第75回全国人権・同和教育研究大会〔兼第50回九州地区人権同和教育夏期講座、第52回熊本県人権教育研究大会〕（熊本市他）
部落解放・人権確立第43回全九州研究集会（佐賀県佐賀市）、部落解放第36回熊本県研究大会（阿蘇市）
熊本県市町村人権同和教育連絡協議会先進地視察等（京都市・北九州市）

| 課名 | 事業名 | R5予算額 | R6査定額 | 増減 | 財源内訳 | | | | | 主な内容 |
|-------|------------------------------------|--------|-------|---------|------|---|----|-----|-------|---|
| | | | | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 | |
| 生涯学習課 | 人権教育事業 (旧：人権教育事業＋ 地区内同和教育事業) | 10,272 | 5,073 | △ 5,199 | | | | | 5,073 | 地区内人権教育講師謝礼：1,500千円 八代解放子ども会事業委託：219千円 地区内人権同和教育事業委託：400千円 第75回全国人権同和教育研究大会参加資料代 750千円（臨時的） ※大幅な減はR5年度に西宮上日置集会所空調等 改修工事（△6,100千円）があったため |

(2) 9.7.1 社会教育総務費

学校・家庭・地域の連携協力推進事業

- 目的 幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行う。
- 本事業では、地域学校協働活動(様々な学校協力活動)(放課後子ども室)(地域未来塾)の教育支援活動を積極的に実施することにより、地域の実情に応じ、地域の力を活かして子供を健全に育てることで、各事業の円滑な実施を図る。
- 全体計画
- ・令和2年4月に八代市地域学校協働本部を設置し、教育部長を本部長とし、学校支援活動を継続的・安定的に活動を実施できるよう横の連携に努める。また、各学校に地域コーディネーターを配置している。
 - ・「地域学校協働活動」事業については、H29年度から第三中学校区にて事業を行っている。R2年度より、15小学校、5中学校、1支援学校で実施。R3年度よりすべての39小・中・特別支援学校にて事業実施。
 - ・「放課後子ども教室」事業については、昭和小、泉小にて事業を展開している。(郡築小はR2年度より、ボランティアの確保ができず中止)
 - ・「地域未来塾」事業については、塾の講師や教員OB等を学習支援員として、塾に通えない子供たち等に学習習慣を身につけさせることや学力向上を狙い実施している。R5年度は、第四中・第六中・第八中・日奈久中・二見中・千丁中にて実施している。
 - ・地域コーディネーターの人材育成が課題となっているため研修等を実施し、地域社会全体で学校運営を行っていくことの必要性について、地域コーディネーター及び教職員等の意識を変えて行く取組を実施している。

○予算額の推移(当初予算ベース)

| | |
|--------------|--------------------------------|
| R3年度：6,535千円 | 財源内訳：県支出金 4,334千円、一般財源2,201千円 |
| R4年度：6,718千円 | 財源内訳：県支出金 4,488千円、一般財源 2,230千円 |
| R5年度：6,996千円 | 財源内訳：県支出金 4,672千円、一般財源 2,324千円 |

○令和6年度の主な予算額

- ・ 報償費：6,314千円
 - 地域未来塾 240千円×7校
 - 会議出席時報償費(本部会議・連絡調整会議・CS)：22千円×39校
 - 学校の働き方改革を踏まえた活動：30校 3,191千円
 - 放課後子ども教室学習指導員：292.05千円×2校
 - 地域学校協働活動事業運営消耗品：8千円×39校
- ・ 消耗品費：312千円

○その他

- 参加児童数(R3年度実績) 昭和小 25人(1年～3年生) 泉小 8人(1年～2年生)
- 参加児童数(R4年度実績) 昭和小 18人(1年～3年生) 泉小 7人(1年～2年生)
- 参加児童数(R5年度実績) 昭和小 22人(1年～3年生) 泉小 9人(1年～2年生)
- 地域未来塾参加生徒数(R5年度実績) 第四中14人・第六中14人・第八中17人(夏休みのみ)
- ・日奈久中31人(夏休みのみ)・二見中12人・千丁中44人(夏休みのみ)

| 課名 | 事業名 | R5 予算額 | R6 査定額 | 増減 | 財源内訳 | | | | | 主な内容 |
|-------|----------------------|-----------|-----------|-------|------|-------|----|-----|-------|---|
| | | | | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 | |
| 生涯学習課 | 学校・家庭地域の連携 協力推進事業 | 6,996 | 6,734 | △ 262 | | 4,470 | | 28 | 2,236 | ・様々な協力活動：39校 ・放課後子ども教室(小学校)：2校 ・地域未来塾(中学校)：7校 ※報償費の減(△262千円) |

社会教育事業

○社会教育委員会

目的 教員委員会の諮問機関としての活動や青少年教育に関する指導的な活動等を行い、多様化する社会教育のニーズを施策に反映する。

委員の設置 委員数 12人

委員会議の開催 委員報酬 177千円(5,900円×10人×3回)(12人：うち2人は校長会代表)

九州ブロック社会教育研究大会(鹿児島市)、熊本県社会教育委員連絡協議会理事会等への参加

費用弁償:24千円 資料代:16千円(熊本県社会教育研究大会1,200円×13人他)

機関紙「社教情報」等の購読:27千円

○社会教育指導員

目的 地域や学校における様々な活動や学習に対して、指導及び助言を行う。また、生涯学習の支援に関する業務を行う。

社会教育指導員給与等:4,402千円、期末勤勉手当:1,251千円、社会保険料等:1,092千円、費用弁償:89千円

○社会教育団体

目的 本市における社会教育の振興を図るため、団体の実施する事業に対し補助及び人的支援を行う。

| | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|
| 市PTA連絡協議会 | 181千円 | 685千円 | 665千円 | 645千円 | 581千円 | 571千円 | 513千円 | 513千円 | 513千円 | 513千円 | 513千円 | H26年度まで委託金 |
| 市地域婦人会連絡協議会 | 1,649千円 | 1,514千円 | 1,464千円 | 1,419千円 | 1,277千円 | 1,220千円 | 1,098千円 | 1,098千円 | 1,098千円 | 1,068千円 | 1,068千円 | 高田校区の減 |
| 市子ども会連合会 | 1,113千円 | 865千円 | 839千円 | 813千円 | 725千円 | 445千円 | 265千円 | 240千円 | 240千円 | 240千円 | 240千円 | |

○二十歳の集い

目的 人生の節目(二十歳)を迎える次代を担う若者達を激励し、祝福するため開催する。

二十歳での実行委員会を組織し、八代市二十歳の集いの企画運営を委託し、実施する。

開催日:令和7年1月12日(日)(予定) 場所:八代トヨオカ地建アリーナ(八代市総合体育館)(予定)

対象者:平成16年4月2日~平成17年4月1日生

二十歳の集い企画運営委託料:989千円 交通誘導警備委託料等:394千円 施設使用料:551千円 他

○協議会負担金

熊本県社会教育委員連絡協議会:5千円

○その他の社会教育事務経費

需用費(事務用品、パフォーマンスチャージ料等)979千円、公用車車検代等269千円、大型プリンターリース料225千円 1,473千円

| 課名 | 事業名 | R5 予算額 | R6 査定額 | 増減 | 財源内訳 | | | | | 主な内容 | |
|-------|--------|-----------|-----------|-----|------|---|----|-----|------|--------|---|
| | | | | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 | | |
| 生涯学習課 | 社会教育事業 | 11,818 | 12,517 | 699 | | | | | | 12,517 | 社会教育委員報酬 177千円 社会教育指導員報酬等 6,384千円 社会教育団体補助金 1,821千円 二十歳の集い開催経費 2,210千円 ※社会教育指導員報酬等の増額他(699千円) |

(4) 9.7.1 社会教育総務費

青少年体験活動事業

○目的 小学生を対象に、各種の生活体験や自然体験等の体験講座を開催し、家庭や学校で経験できない活動を通じ、他校の児童及び異学年との触れ合いを通して子ども達の健全育成を図る。

○全体計画 豊かな自然の中での野外活動や集団生活を通じて自主性や協調性を育み、地域との交流を深めながら豊かな感性と健全な心身の育成を図る。また、親子で共に体験活動を行い、驚きや感動を共有し親子の絆を深め、市内外各地域を会場として体験プログラム(キッズチャレンジ)を企画し、開催する。

○予算額の推移(当初予算ベース)

R3年度：595千円 財源内訳：伝統文化親子教室事業委託金 87千円、その他(参加料) 348千円、一般財源 160千円
 R4年度：579千円 財源内訳：その他(参加料) 358千円、一般財源 221千円
 R5年度：603千円 財源内訳：その他(参加料) 324千円、一般財源 279千円

○令和6年度の主な事業内容(予定)

- キッズチャレンジ2024「アウトドアスクール」 会場：県立豊野少年自然の家 参加対象者：小学4～6年生の児童及び高校生ボランティア 約40人
 日程：2泊3日(夏休み) 内容：野外炊飯・キャンプファイヤー 他
- キッズチャレンジ2024「夏休み子ども陶芸教室」 会場：赤星公園・水竹居の館 参加対象者：小学4～6年生の児童 約30人
 日程：1日(夏休み) 内容：陶芸体験
- キッズチャレンジ2024「宿泊体験活動」 会場：さかもと青少年センター 参加対象者：小学4～6年生の児童 約24人
 日程：1泊2日 内容：トレッキング・調理体験・工作 他
- キッズチャレンジ2024「親子体験教室」 会場：未定 参加対象者：小学1～6年生の児童・保護者 約15組30人
 日程：1日 内容：里山散策、調理体験 他

増額：燃料費 9千円、備品購入費(LEDライト) 31千円
 減額：役務費△9千円(通信運搬費)、委託料(マイクロバス運転業務)△18千円、施設使用料△18千円 等

参加者負担金(傷害保険料含む) 324千円

| 課名 | 事業名 | R5 予算額 | R6 査定額 | 増減 | 財源内訳 | | | | | 主な内容 |
|-------|-----------|-----------|-----------|----|------|---|----|-----|------|--------------------------------------|
| | | | | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 | |
| 生涯学習課 | 青少年体験活動事業 | 603 | 599 | △4 | | | | 324 | 275 | 講師謝礼・マイクロバス運転業務委託料・施設使用料・賄材料費・消耗品費 等 |

生涯学習推進事業

○目的 市民が、生涯にわたって、気軽に、誰でもが、芸術文化活動、スポーツ活動、社会参加に通じる学習活動などに参加することができ、その成果を適切に生かすことのできる地域社会の実現を目指す。

○全体計画 生涯学習社会の実現のため、多様化・高度化する市民や地域の学習ニーズに対応し、幅広い世代が参加しやすい講座を開催する。また、時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育や誰一人取り残さないデジタル社会実現に向けた生涯学習活動を推進する。家庭の教育力の向上を目指し、小中学校や幼稚園、保育園ごとに「家庭教育学級」の開設を促進し、学習を支援する。「まなびフェスタ」を開催し、市内の学習活動を広く市民へ紹介するとともに、舞台発表や作品の展示等を通じた学習成果の発表の場を提供する。

○予算額の推移(当初予算ベース)

R3年度：2,320千円 財源内訳：国(伝統文化親子教室事業委託金)245千円、その他(受講料)321千円、一般財源 1,754千円
 R4年度：2,721千円 財源内訳：その他(受講料)803千円、一般財源 1,918千円
 R5年度：2,938千円 財源内訳：その他(受講料)1,070千円、一般財源 1,868千円

○令和6年度の主な事業内容

- ・家庭教育学級：176千円(講師謝金165千円、講師旅費5千円、消耗品費6千円 他)
 - ①市内小・中学校、幼稚園、保育園単位による学級開設(令和5年度実績：61学級)
 - ②全体研修会(市内全学級を対象とした研修会を開催)
- ・公民館講座：1,123千円(講師謝金728千円、講師旅費114千円、消耗品費225千円、保険料26千円、通信費20千円 他)
 - 防災講座、健康講座、食育講座など34講座を開催予定
- ・まなびフェスタやつしろ：826千円(団体等謝金141千円、講師派遣委託526千円、消耗品費27千円、印刷製本費112千円 他)
 - 講演会、学習クラブ活動発表、食バザー、体験講座、学習作品展示、人権啓発作品展示 等
- ・リカレント教育：636千円
 - かんたんスマホ講座、はじめてのスマホ講座、ITキャリアアップ講座を開催予定

増額：会計年度任用職員報償等 772千円 報償費 227千円(講師謝礼等)、講師旅費 58千円 印刷製本費 70千円
 減額：需用費 △175千円(講座用消耗品費等)、委託料 △134千円(まなびフェスタ講師派遣) 備品購入費 △150千円

講座受講料 930千円

| 課名 | 事業名 | R5 予算額 | R6 査定額 | 増減 | 財源内訳 | | | | | 主な内容 |
|-------|----------|-----------|-----------|-----|------|---|----|-----|-------|---------------------------|
| | | | | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 | |
| 生涯学習課 | 生涯学習推進事業 | 2,938 | 3,610 | 672 | | | | 930 | 2,680 | 講師謝礼、消耗品費、まなびフェスタやつしろ開催経費 |

図書館管理運営事業

○目的 生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

○全体計画 ・図書館運営方針の着実な履行として指定管理者が適切な運営管理を行うよう指導、助言、進捗調整を行い市民に親しまれる図書館運営を行う。

○予算額の推移(当初予算ベース)

R3年度：140,641千円 財源内訳：その他(使用料他) 842千円、一般財源 139,799千円

R4年度：140,833千円 財源内訳：その他(使用料他) 840千円、一般財源 139,993千円

R5年度：142,278千円 財源内訳：その他(使用料他) 830千円、一般財源 141,448千円

※H27年度から指定管理制度導入により、本館・せんちょう分館・かがみ分館を含む運営経費となっている。

○R6年度の主な予算額

- | | | |
|----------------|------------------|---------------------------|
| ・委託料：133,861千円 | 指定管理委託料 | 指定管理委託料 |
| ・修繕料：500千円 | 施設設備修繕(リスク分担対応分) | 指定管理期間：R2.4.1～R7.3.31(5年) |
| ・報酬：95千円 | 図書館協議会委員報酬 | 委託先：TRCグループ共同企業体 |
| ・委託料：2,845千円 | 図書システム保守点検委託 | 委託金額：総額 670,208千円 |
| ・使用料：2,908千円 | 図書システム及び機器リース代 | |

○R6年度の主な事業内容

- | | | | |
|-----------------|--------|-----|-----------|
| ・指定管理者更新に伴う選定作業 | (年度内訳) | 2年度 | 134,764千円 |
| ・図書館協議会の開催 等 | | 3年度 | 133,861千円 |
| | | 4年度 | 133,861千円 |
| | | 5年度 | 133,861千円 |
| | | 6年度 | 133,861千円 |

| 課名 | 事業名 | R5 予算額 | R6 査定額 | 増減 | 財源内訳 | | | | | 主な内容 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------|------|---|----|-------|---------|---|
| | | | | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 | |
| 生涯学習課 | 図書館管理運営事業 | 142,278 | 141,857 | △ 421 | | | | 1,331 | 140,526 | 上記のほか 修繕料：空調システム部品交換 715千円 図書館南側スロープ滑り止め張替 200千円 坂田道男・道太文庫図書購入 208千円 |